



中山間地域の保全、活性化へ



中山間地域等直接支払制度の有効活用

農業者の高齢化と担い手不足により、農地の維持も困難な状況の中、集落では様々なアイデアを出し合い、里山環境と地域の活性化に向け活動している。



対象農用地面積
県内で1番！

第3期対策（H22～H26取り組み状況）

交付面積	492ha	単位：ha		
	【内訳】	急傾斜	緩傾斜	合計
	田	199	189	388
	畑	4	24	28
	草地	2	8	10
交付金額	牧草地	21	45	66
	合計	226	267	493
交付金額 57,611,001円（平成26年度）				
協定数	集落協定：25協定（延べ786名）			
	個別協定：1協定			

問題～解決までの取り組み

問題

農業者の高齢化・担い手不足

・遊休農地の発生防止
・担い手の確保

集落で話し合い

・地域で農地の維持管理

交付金による活動！積極的な取り組み！

援農ボランティアの募集

- ヒマワリの刈り取りと種の収穫
- 柿の収穫と干柿づくり

大学生が多く参加し、大盛況の中交流を深める。



ヒマワリ刈りの様子

機械の共同購入

- 交付金により農業用機械を購入し、共同で使用

機械購入の必要が無くなりゆとりのある農業へ。農地の維持管理に繋がった。



機械の共同利用

非農家と共同活動

- 非農家と農家と一緒に景観を守る

集落の景観を守るため、農家の呼びかけにより、非農家の住民も積極的に活動に参加。



地域住民との書億歳



U字溝設置



援農ボランティアとの記念写真